

〔科目名〕 学習導入演習	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 アカデミック・コモン・ベーシックス (必修)
〔担当者〕 本田 明弘 Akihiro Honda	〔オフィス・アワー〕 時間:講義中に指定 場所:講義中に指定	〔授業の方法〕 演習
〔科目の概要〕 本講義では、大学で学ぶための導入として必要な、問題点、課題の発掘、関連する情報の検索、論理的な思考、文章作成技術といった基礎的なスキルを身に着けます。また、その結果をプレゼンテーションできるスキルもあわせて向上させます。		
〔授業科目群〕・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 本講義では大学での勉学において必要な手順(情報収集、要約、課題の発見、ドキュメンテーション)を追って、各自のスキルを効率よく育成するために、グループでの討議と各人の演習を組合わせて進行します。就学を終えて社会人として活躍するには、コミュニケーションスキルが重要となります。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 中期目標 問題の設定、情報収集、要約、分析、レポート作成の基礎知識を得る。 最終目標 自らがレポートの形式で作成し、プレゼンテーションもできるようになる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 受講生個々の知見を高めることと、グループでの討議を通じたリーダーシップを発揮してほしいと考えます。		
〔教科書〕 なし		
〔指定図書〕 なし		
〔参考書〕 野田直人、小論文・レポートの書き方 パラグラフ・ライティングとアウトラインを鍛える演習帳、(2015)、人の森 倉島 保美、論理が伝わる 世界標準の「書く技術」、(2012)、講談社		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) レポート2回(100点) 欠席は5回に達した時点で、他の成績に関わらず E 評価とする。 大幅な遅刻については出席と認めない。		

なお、やむを得ない事情により出席ができない場合には、都度教員と連絡をとり別途のレポートなど考慮する場合があります。

〔評価の基準及びスケール〕

- A 80 点以上
- B 70 点以上 80 点未満
- C 60 点以上 70 点未満
- D 50 点以上 60 点未満
- F 50 点未満

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

学生の活発な姿勢・発言を評価します。

〔実務経歴〕

製造業 研究職

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション 内 容: 主旨説明、グループ分け、自己紹介(課題に関して) 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): デジタル情報の検索方法 内 容: 情報の検索について(主としてデジタル検索)討議 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): アナログ情報の検索方法 内 容: 情報の検索について(主としてアナログ図書)討議 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): 情報の分析方法 内 容: 情報の分析方法を解説 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): レポートの構成および様式 内 容: 最終的なレポートの構成をまとめる。 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか): 社会的なグループテーマの設定 内 容: グループとしてのレポートテーマを討議してとりまとめる。 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか): グループテーマに対する情報検索と分析 内 容: 情報収集をグループで実施して分析する。 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか): 分析結果をレポートにまとめる 内 容: レポートの形式でグループごとにまとめる。 教科書・指定図書

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):グループごとのプレゼンテーションと質疑応答</p> <p>内 容: 各グループでのレポートを全体場でプレゼンテーションを行う 教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): お互いのグループでのプレゼンテーションに対する意見交換</p> <p>内 容: グループごとのテーマに対するプレゼンテーションに対して、良かった点、参考になった点などを発表 教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 個人レポートの作成(1)</p> <p>内 容: 各自がテーマ設定をして、情報の追加収集を行う。 教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 個人レポートの作成(2)</p> <p>内 容: 各自が情報を分析して要約する。 教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 個人レポートの作成(3)</p> <p>内 容: 各自がレポートの形式で取りまとめる。 教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 講義で得られた知識の確認(各自)</p> <p>内 容: 期末試験を実施するとともに、各自で講義に対するレポートを作成する。 教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): グループ討議のすすめ方とレポート作成</p> <p>内 容: 「社会の課題と役割」に関するグループでのディスカッションとグループでのレポート作成 教科書・指定図書</p>
試験	レポート(100点)